

Nordic Market Biweekly Report

情報提供資料

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

2016年5月11日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2016年4月15日～2016年5月6日) ※単位は円

	4月15日	4月28日	5月6日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	13.32	13.46	13.12	-1.5%
スウェーデン・クローナ	13.48	13.56	13.24	-1.8%
デンマーク・クローネ	16.60	16.68	16.44	-1.0%
ユーロ(フィンランド)	123.53	124.12	122.34	-1.0%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2016年4月15日～2016年5月6日)、北欧4カ国の通貨は対円で下落しました。

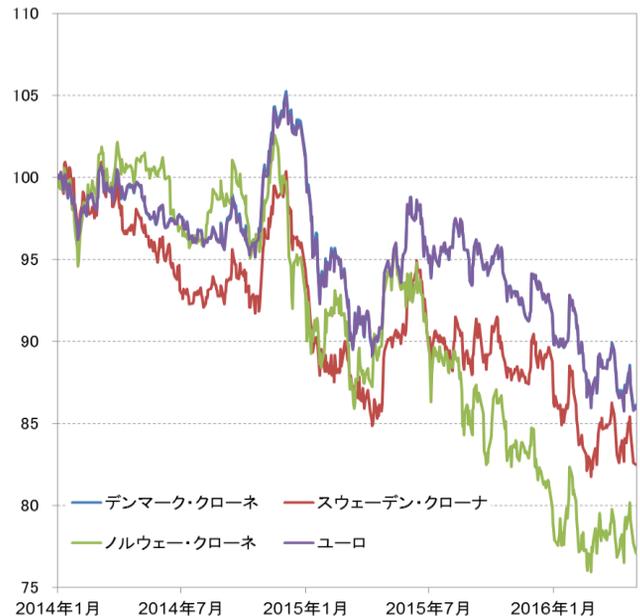
日本で3月のコア消費者物価指数(CPI)が2013年4月の日銀黒田総裁による量的・質的金融緩和の導入以降で最大の低下幅になったにもかかわらず、先月28日に日銀が追加緩和を見送ったことで、円は北欧通貨を含むほぼ全ての通貨に対して上昇しました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

対円レート推移

(2014年1月6日～2016年5月6日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2016年4月15日～2016年5月4日) ※単位は%

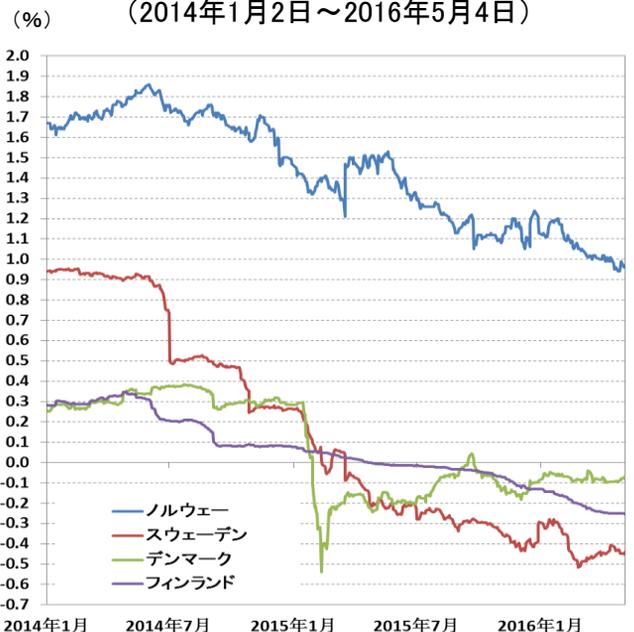
	4月15日	4月28日	5月4日	期間中変動幅
ノルウェー	1.000	0.960	0.960	-0.040
スウェーデン	-0.410	-0.449	-0.442	-0.032
デンマーク	-0.095	-0.088	-0.070	0.025
ユーロ圏(フィンランド)	-0.249	-0.252	-0.253	-0.004

期間中(2016年4月15日～2016年5月4日)、北欧4カ国の銀行間取引金利はデンマークを除いて低下しました。

スウェーデン銀行間取引金利は、スウェーデン国立銀行が4月21日に政策金利を据え置く一方で、国債を買い取る量的緩和の規模拡大を発表したことを受けて、小幅に低下しました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2016年5月4日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

<ノルウェー：ノルウェー政府年金基金がマイナスリターン>

世界最大級の政府系ファンド、ノルウェーの「政府年金基金グローバル」の2016年1-3月期の運用成績がマイナスとなりました。ノルウェー中央銀行の発表では、同ファンドの2016年1-3月期の運用成績は-0.6%（850億クローネの減少）となりました。ポートフォリオの約60%を占める株式と約3%を占める不動産で、2016年1-3月期のリターンがそれぞれ-2.9%と-1.3%だったことが主にマイナスに寄与しました。一方、ポートフォリオの残り37%を占める債券運用は3.3%のプラスリターンとなりました。ノルウェー中央銀行は、「2016年最初の2ヵ月は中国の景気減速や商品価格の下落への懸念を背景に世界的に金融市場が荒れた展開となったことが影響した。」と発表しています。原油価格の低迷による収入減もあり、ファンド設定以来初めて、250億クローネの純資金流出となりました。

<デンマーク：成長見通しを下方修正>

デンマーク政府は、2016年と2017年の成長見通しを下方修正しました。見通しの引き下げは3回目です。2016年と2017年の成長見通しは、それぞれ1.1%（前回予測は1.9%）と1.7%（前回予測は2.0%）としました。昨年12月に見通しを発表したときには、市場では見通しが楽観的過ぎるとの意見もありました。また、今回の予測についても、デンマーク政府は更なる下方修正に迫られる可能性があるとの指摘があります。デンマーク財務省は、「世界的に経済成長が減速している兆候が表れている。」と言及しました。世界経済の減速に加え、原油価格の低迷などがデンマークの国内生産の下押し圧力となっています。フレデリクセン財務相は「今後数年は国内経済において困難な時期となることは間違いないだろう。」と述べました。

<スウェーデン：エネルギー大手が独火力発電を売却>

スウェーデンのエネルギー大手国有会社Vattenfallは、ドイツ国内の火力発電事業と炭鉱事業を売却することを発表しました。売却先はチェコの同業EPHで、金額は公表されていません。売却が決定した火力発電事業は、Vattenfallのドイツにおける総発電量の1割程度を占めており、売却により2016年4-6月期に220-270億クローネの損失が発生する見込みです。一方で、Vattenfallは、二酸化炭素(CO2)排出量の多い石炭火力の割合が高く、また収益環境が厳しいドイツの火力発電から手を引くとともに、今後は北欧地域と再生可能エネルギーをより重視すると発表しています。ドイツでは近年、化石燃料に対する抵抗が強まっていることに加え、再生可能エネルギーへの国の助成金も石炭火力発電の必要性を低下させています。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年5月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。